

連載 輝く！

# 知名人

第1回  
前田純也さん  
Interview



小さな島でも  
でっかいスポーツ環境！  
離島だから出来ないではなく、  
離島だから出来た事を  
みんなで見つけましょう。

談話／中村理恵

先輩たちが自分に教えてくれたことを今度は  
自分が担っていかないとけないのかな、と。

—どんな子供時代でしたか？  
子ども時代は、外で走り回  
る子どもだったです笑。下平  
川小学校でスポ少のサッカー  
をしながらバスで知名小まで  
通って野球をやっていました。  
中学・高校ももちろん野球部。  
鹿児島の専門学校でも野球を

して、鹿児島で就職した会社  
にあったソフトボールチーム  
にも入っていました。  
—野球が楽しかったんですね  
自分の仲間や先輩たちも野  
球をしてたので、そういう環  
境だったんでしょうね。学生  
時代の先生から「球技の中で

は小さいサイズの野球ボール  
だけど、このボールが縁でい  
ろんな人と出会える」と言わ  
れたのが印象に残っています。  
—えらぶに帰ってきたのは？  
25の時です。そろそろえら  
ぶに帰りたい時期になっても  
きてたし、子どもたちに自分  
の学んだソフトボールを教え  
たいと思ってました。  
先輩たちが自分に教えてく

—活動の原動力は何ですか？  
やっぱり地元愛というか。  
最終的には皆さんが喜んでく  
れる顔ですね。何かをした時  
に「良かったよ」と言ってく  
れる声に騙されているという  
か励まされているというか笑、  
それだけです。自分自身、中  
学・高校時代やんちゃをして  
きてたんで、そういう奴が少  
しでも地域に恩返しできた

—将来のビジョンはありますか？  
実際どうなってるんだらう  
な？って思います笑。今すぐ  
いスピード感でここまででき  
てるんで、ワクワクしてます。  
自分の大好きな奄美の園田明  
先輩（編集部注…バスケット  
ボールブランド「バイオレ  
ラ」の運営会社である株式会  
社アイズ・カンパニー代表取  
締役会長兼CEO、NPO法  
人ASA奄美スポーツアカデ  
ミー理事長）といろいろ話し  
をする中で、自分が目指して  
いるのはその人のレベルなん

—NPOを立ち上げた  
お聞きしましたが。  
それまでは競技の枠を超え  
た集まりがなかったんですけ  
ど、高校時代の体育の恩師で  
ある上村修史先生が、島内の  
違った競技の指導者を集めて  
意見交換会をしようと発案さ  
れて。そのタイミングで役場  
からスポーツ振興の補助金を  
いただいたんです。それを  
使って指導者やトレーナーを  
呼ぶ活動をしたんですが、そ  
の活動をずっと続けていきた  
いと思って平成30年の1月に  
NPOを立ち上げました。

—それだけじゃなくて、  
他の家庭の子も「地域の子」  
という思いですね。その子た  
ちが大きくなったときに、バ  
トンタッチをする準備を整え  
ているところです。もう若い  
世代の何人かはビックアップ  
してます笑。彼らにとっても  
それをする事で地域の中で  
自分の居場所が見つかるキッ  
カケにもなると思います。  
—将来のビジョンはありますか？  
実際どうなってるんだらう  
な？って思います笑。今すぐ  
いスピード感でここまででき  
てるんで、ワクワクしてます。  
自分の大好きな奄美の園田明  
先輩（編集部注…バスケット  
ボールブランド「バイオレ  
ラ」の運営会社である株式会  
社アイズ・カンパニー代表取  
締役会長兼CEO、NPO法  
人ASA奄美スポーツアカデ  
ミー理事長）といろいろ話し  
をする中で、自分が目指して  
いるのはその人のレベルなん

れた環境だったの、次は自  
分がこの役を担っていかない  
といけないのかな、という。  
島に帰ってきてすぐ、当時  
下平川小のスポ少の指導をし  
ていた先輩から、「今日ソフ  
トの練習があるからちよつと  
中学・高校時代ヤンチャしてきたんで、  
そういう奴が少しでも地域に恩返しできたなら笑

だけ見に来い」と言われて。  
夕方、小学校のグラウンドに  
行ったら子どもたちに「今  
日からお前たちの監督だ」と  
紹介されて笑。それから今  
に至って、そろそろ20年です。  
ドブプリ笑。

【前田純也さん】昭和51年生。下平川小学校・知名中学校・沖永良部高校出身。専門学校卒業後、鹿児島の建設会社で5年間働いたのち帰郷。平成23～29年度の6年間下平川小学校のPTA会長を務める。現在は(株)新協で働きつつ、平成30年1月に設立した(NPO法人)沖永良部スポーツクラブ・Eloveの立ち上げに携わり、理事長として奔走している。中3・小6・小4の3児の父。

沖永良部スポーツクラブ・Elove（イーラブ）  
住吉・正名の公民館で、異世代間の交流をしながら運動能力を高めるための健康体操を開催（第2・4日曜日）。2月には世代ミックスのフットサル大会の開催も計画中。詳細は右記QRコードから。



だろうな、っていうのは再確  
認しています。そこまではい  
かなくても、島の子どもたち  
のために自分に何ができるか  
な、っていう感覚は忘れな  
い。何かやっていきたいです  
ね。  
—前田さんには人を巻き込む  
力を感じますね  
後先を何も考えてないから  
かもですよ笑。難しい考えを  
しないまま、子どもの時の  
感覚そのまま  
なんで。みんなに「楽しそ  
う」って言わ  
れますよ笑。

